



## 会社概要

- 従業員数 / 530名
- 資本金 / 10億円
- 業種 / 建設業
- Email / dobokugijutu@honmagumi.co.jp
- 担当者 / 本間 義信

## 株式会社本間組

TEL:025-229-8440/ FAX:025-223-5040

<https://www.honmagumi.co.jp/>

〒951-8650

新潟県新潟市中央区西湊町通三ノ町3300番地3

こんな組織と繋がりたい

- 建設に係る技術開発で連携できる企業
- 建設に係る技術的な課題に対応できる研究組織

未来は、つくりがいがある。



PR 販路 産学 情報 人材

創ります。人と自然と文明の共存を。

## ▶会社・事業の特徴

新潟で創業した本間組は、河川・港湾工事など海洋土木を始め、陸上土木、建築の3分野において、全国各地の地域づくりに貢献してきました。街をつくり、街を結び、人々が安心して暮らせる安全安心な環境を生み出す—それこそ私たちが目指すものです。

今、持続可能社会構築への流れが加速化しています。本間組は地球環境を保全し、持続的な成長・発展を遂げるための視点から建設を見据え、既存構造物の長寿命化やリビルド、ICTやAIを融合させた施工、さらに再生可能エネルギー開発へと、次世代に繋がる価値の創造と向上に努めています。

## ▶技術アピール・マッチングニーズ

現在、日本ではインフラ施設の急速な老朽化といった課題を抱える一方、少子高齢化による担い手不足が建設業界でも顕著です。本間組ではICTを積極的に活用するとともに、BIM/CIMの導入により生産性の向上や業務の効率化・高度化を推進しています。これまでに施工現場で導入した技術の一例には、濁水下における水中構造物の点検作業を容易にできる「音響カメラ搭載型ROV」や、GNSSを用いた水中の基準点測量装置「水中三次元座標測量システム」があり、より安全で高品質な社会資本整備の実現と魅力ある建設現場を提供できます。

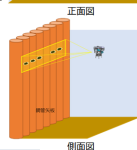
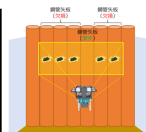
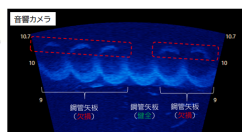
## ココがすごい！

## 水中可視化技術『BlueROV2×ARIS』

ROV「BlueROV2」に2周波音響カメラ「ARIS」を搭載、濁水下における水中構造物の点検作業を容易にできます

## 特長

- 光学カメラで撮影できない濁水下での撮影が可能
- 光学カメラと音響カメラによる同時撮影が可能
- 水中の映像をリアルタイムに確認できる
- ROVとARISは着脱可能、水深100mまで潜水可能



## 水中基準点測量装置『水中三次元座標測量システム』

RTK-GPSで得られた位置情報と2軸式傾斜計で得られるボールの傾斜情報などからボール下端の座標を得るもの

## 特長

- ボールが傾いていても正確な測量や誘導が可能
- 目標位置と現在位置がモニターで容易に把握可能
- 水深に合わせて長さ調節が可能
- 水深10mまで適用実績あり

